

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
 本社：千葉県茂原市渋谷1016-12
 メール：agree@green.ocn.jp
 agree-sys@excite.co.jp

おもしろ体験博物館 江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418
 開館時間：10：00～17：00
 休館日：月曜日
 問い合わせ：0465-81-5339

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」の主人公・真田信繁(幸村)「大坂の陣」において、大坂城東南に出丸「真田丸」を築き奮戦した勇将。本展はNHK大河ドラマと連動し、真田信繁の生涯を描く。

2016年NHK大河ドラマ
特別展

真田丸

真田信繁ゆかりの品など

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」の主人公・真田信繁(幸村)。「大坂の陣」において、大坂城東

南に出丸「真田丸」を築き奮戦した勇将。

のちの信濃国上田城主真田昌幸の次男として生まれた信繁は、織田、北条、徳川、上杉とめまぐるしく主君を変える真田家において、上杉景勝の人質となり、その後豊臣秀吉の人質として暮らした。慶長5年(1600)の関ヶ原合戦では、父・昌幸とともに石田三成が率いる西軍につき、兄・信之は徳川家康が率いる東軍につく。真田家は、親子兄弟が東西に分かれて戦ったが、西軍は敗退。昌幸と信繁は九度山(和歌山県)に幽閉の身となる。

しかし、信繁に転機が訪れる。豊臣家と徳川家による最終決戦「大坂の陣」が起ると、信繁は大坂城へ入城。慶長19年の大坂冬の陣において信繁は、大坂城の東南に真田丸と呼ばれる出丸を築いて徳川方を迎え撃ち、その武名を天下に知



らしめた。翌年の大坂夏の陣では、寡兵ながらも果敢に徳川方を攻め、その奮戦ぶりは家康に死を覚悟させるほどだったと後世に伝えられている。

最後は兵力で勝る徳川方に敗れ大坂城は落城、信繁はその生涯を閉じた。信繁の人間像と彼が生きた時代を浮き彫りに：。

メモ
 ◆4月29日(金・祝)
 ～6月19日

今秋開催される「戦国時代展」&「坂本竜馬展」

今秋開催される「戦国時代展」と「坂本竜馬展」の内容が、このほど江戸東京博物館で発表された。

2017年1月29日(日) 江戸東京博物館で、「坂本竜馬展」は10月15日(土)～11月27日(日)まで京都国立博物館で、それぞれ開催。

坂本龍馬 没後150年

次号は 5月26日発行

(日)
 東京都江戸東京博物館
 1階特別展示室(東京都墨田区横網1-4-1) Tel 03-3626-9974
 一般1350円 大学生・専門学校生1080円 高校生・65歳以上680円 中学生以下無料 毎週月曜日休館(5/16は開館)

によると、「戦国時代展」は11月23日(水・祝)

熱海湾を一望でき眺望ナンバーワンの美術館

■MOA美術館(静岡県熱海市桃山町26-2) 電話0557-(84)2511
 一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円 木曜日休(祝日は開館)
 JR熱海駅下車/バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀展 ピカソからウォーホルまで 開催中!

■諸橋近代美術館(福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23) 一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円 生*毎週土曜日、小・中学生は無料 電話0241(37)1088

日本・ブータン外交関係樹立30周年記念事業

ブータン

上野の森美術館



見るだけで
しあわせに…

として知られている。2005年の国政調査では『しあわせ』と回答した

ヒマラヤ山脈の南にあり、日本の九州とほぼ同じ、人口は約75万人。日本と同じ四季があり、未開の自然が残る豊かな「しあわせの国」

第1章 ブータンの生活様式 民族衣装の流れ、装身具と生活など。
第2章 ブータン仏教と信仰 信仰のブータン人と祈りの対象となる仏像とタンカ(仏画)を比較展示。

の約97%を占め世界が驚いた。この幸福感は、ブータンの人々が信仰するブータン仏教。

『しあわせの国』として知られるブータンの人々の暮らしの中にある伝統文化を見つめることで、「しあわせになるためのヒント」が見つかるかも知れない。

日伊国交樹立150周年記念

世界遺産 ポンペイの壁画展

森アーツセンターギャラリー

天空に蘇る
イタリアの奇跡

紀元後79年、火山の噴火という悲劇的な終焉により、時代を瞬時に閉じ込めたポンペイの町。18世紀に再発見されたポンペイの遺跡



は、古代ローマの人々の豊かな暮らしを今に伝え、世界中を魅了し続けている。1997年に「ポンペイ、エルコラーノ、トッレ・アヌンツィアータの遺跡地域」として世界遺産に登録され、年間200万人以上の観光客が訪れるポンペイの遺跡は、「秘儀荘」を筆頭とする壁画の美しさで知られ、「ポンペイの赤」と呼ばれる特徴的な色彩は、一度目にすると思われな

い鮮やかさ。本展は、ポンペイの出土品の中でも最も人気の高い壁画に焦点を絞り、壁画の役割と、その絵画的な価値を紹介する

メモ

◆4月29日 (金・祝) ~ 7月3日(日)

森アーツセンターギャラリー (東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階) 入場料 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 高校・大学生1300円 小・中学生600円 会期中無休

第3章 愛されるブータン王室 ブータン王室の衣装などを特別展示。

メモ

◆5月21日 (土) ~ 7月18日(月・祝)

上野の森美術館 (東京都台東区上野公園1-2)

台東区上野公園1-2) 0570-000337 (サンライズプロモーション東京) 一般1400円 大学・高校生1000円 小中学生600円 会期中無休

MIYAKE ISSEY展

デザインアプロ
ーチを明らかに



このたびの展覧会「MIYAKE ISSEY展」三宅一生の仕事

子どもから大人まで、誰もがつくることの楽しさに触れてもらうとともに、本展が自由な発想を押し広げ、創造力を刺激する機会となるようです。

国立新美術館 企画展示室2E (東京都港区六本木7-22-2) 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 大学生800円 高校生、18歳未満の方は入場無料 毎週火曜日休館

メモ

◆3月16日 (水) ~ 6月13日(月)

MIYAKE ISSEY展

三宅一生の仕事

三宅一生の仕事 三宅一生の仕事 三宅一生の仕事 三宅一生の仕事

国立新美術館 企画展示室2E (東京都港区六本木7-22-2) 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 大学生800円 高校生、18歳未満の方は入場無料 毎週火曜日休館

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市城内町117) 電話03(5777)8600 (5777)8600 ハローダイヤル 一般4200円、高校・大学生2500円、中学生以下は無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本等多岐にわたる

静岡市立芹沢銕介美術館 (静岡市駿河区登呂5-10の5) 電話054(282)522 一般410円 高大生2500円、月曜日休館

庭園ゾーン、書院ゾーン、体験ゾーン、展示ゾーン

北九州市立小倉城庭園 (北九州市小倉北区城内1の2) 電話093(582)2747 会期中無休



カサット屈指の傑作、初来日!

メアリー・カサット展

新しい時代の扉を開いた印象派の女性画家

**軽やかな筆づか
いと明るい色彩**

印象派を代表する米国人女性画家、メアリー・カサット(1844-1926)の回顧展を35年ぶりに日本で開催となる。

米国ペンシルヴェニア州ピッツバーグ郊外に生まれたカサットは、画家を志して21歳のときにパリに渡る。古典絵画の研究から出発し、新しい絵画表現を模索するなかでエドガー・ドガと出会い、印象派展に参加するようになる。そして、軽やかな筆づかいと明るい色彩で身近な女性たちの日常を描き、独自の画風を確立した。特に温かい眼差しで捉えた母子の姿は多くの共感を呼び、「母子像の画家」と呼ばれるようになった。

メモ ◆6月25日(土)
 9月11日(日)
 横浜美術館(神奈川県横浜市区みなとみらい3-4-1) TEL 045-221-0300
 一般1600円 大
 学・高校生1100円 中
 小学生600円 小学生以下無料
 木曜日休館(8/11は開館)

た。女性の職業画家がまだ少なかった時代に、さまざまな困難を乗り越えて画家となる意志を貫いたカサットの生き方だった。

心を打つ名作の数々

本展では、カサットの油彩画やパステル画、版画の代表作に加え、エドガー・ドガ、ベルト・モリゾなど交流のあった画家たちの作品、画家が愛した日本の浮世絵版画や屏風絵なども併せて合計約100点を展覧し、初期から晩年にいたる画業の全貌を紹介し、愛にあふれるカサット芸術の真髄に迫る展覧会となる。

特別展 日韓国交正常化50周年記念

ほほえみの御仏

—二つの半跏思惟像—



古代仏教彫刻の傑作

右の写真のように左足を踏み下げ、右足をその膝の上に組んで坐り、右手を頬に添えて思索する仏像を半跏思惟像(はんかしゆいぞう)と言う。このような坐り方を半跏といい、物思いにふける(思惟)ことがその名の由来となっているようです。

日本と韓国の仏像の美

また、韓国国立中央博物館所蔵の銅製の半跏思惟像は、国宝78号像として広く親しまれている。日本と韓国に同じ姿の優れた仏像が残るのは、両国の古代から続く交流の深さを物語るといえるでしょう。

本展は、日本と韓国の仏像の美を堪能するまたとない機会となっている。

わった。日本や朝鮮半島では6世紀から8世紀の間に多くの像がつくられ、そのなかには古代仏教彫刻の傑作といわれる仏像がある。奈良県の中宮寺門跡(ちゅうぐうじもんげき)に伝わる国宝の半跏思惟像はその一つで、優しく微笑む顔は誰もが知るところ。

メモ ◆6月21日(火) ~ 7月10日(日)
 東京国立博物館 平成館(東京都台東区上野公園13-9) TEL 03-5777-7777

—8600(ハローダイヤル) 一般1000円 大
 学生700円 高校生400円 中学生以下無料 会
 期中無休

特集

生誕150年記念 中村屋サロンの芸術家
中村不折の魅力

中村屋サロン美術館



中村屋サロンゆかりの洋画家であり、「新宿中村屋」

不折の初期から
晩年まで

明治、大正、昭和期に活躍し、中村屋とゆかりのある洋画家、書家である中村不折の生誕150年を記念し、初期からパリ留学時代、晩年までの、油彩画、素描、日本画、書本の装丁など50点を紹介。



のロゴを書いた書家としても知られている中村不折。その生誕150年を記念し、台東区立書道博物館の所蔵作品を中心に、不折の初期から留学期そして晩年



までの油彩画、素描、日本画、書、本の装丁など、合わせて約50点を紹介している。激動の時代、常に誠実に芸術と向き合った多才な不折の世界を堪能できます。

不折の作品を各項目別に

- 第1章 パリ留学時代
- 第2章 初期作品
- 第3章 不折の日本画と書
- 第4章 帰国後の油彩画
- 第5章 不折のブックデザイン



第3章 不折の日本画と書

日本画では、山水、道釈人物、中国故事をテーマに描く。

第4章 帰国後の油彩画
パリ留学で鍛えられた人体描写、堅固な画面構成が見どころ。

第5章 不折のブックデザイン
正岡子規をはじめ、文学者との交友のあったりし、

メモ

◆ 4月30日(土) ~ 7月24日(日)
中村屋サロン美術館 展示室1・2 (東京都新宿区新宿3丁目26番13号 新宿)



挿絵、雑誌や書籍の装丁、題字を手がける。

中村屋ビル3階 Tel 03-5362-7508 大人300円 高校生以下無料 毎週火曜日休館

2016年6月13日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●国立科学博物館 「恐竜博」 6月12日まで 休館
03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 月曜日休館

●国立科学博物館 「生き物に学び、くらしに活かす」 6月12日まで 休館
03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般6200円 月曜日休館

●国立西洋美術館 「カラヴァッジョ展」 5月12日まで 休館
03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 月曜日休館

●国立新美術館 「MIYAKE ISSSEY展」 6月13日まで 休館
03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 火曜日休館

●東京都現代美術館 「スタジオ設立30周年記念ピクサー展」 5月29日まで 休館
03-5777-8600 (ハローダイヤル)

一般1500円 月曜日休館

●三菱一号館美術館 「PARIS オートクチュール世界に一つだけの服」 5月22日まで 休館
03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1700円 月曜日休館

●山種美術館 「奥村土牛 画業ひとすじ100年のあゆみ」 5月22日まで 休館
03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1200円 月曜日休館

●古代オリエント博物館 「世界の文字の物語 ユーラシア 文字のかたち」 休館
03-3989-3491 一般1000円

●Bunkamura ザ・ミュージアム 「ボストン美術館所蔵 俺たちの国芳 わたしの国貞」 6月5日まで 休館
03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1500円

●目黒区美術館 「没後

40年 高島野十郎展」 6月5日まで 休館
03-3714-1201 一般1000円 月曜日休館

●練馬区立美術館 「没後50年 日本のルソー横井弘三の世界展」 6月12日まで 休館
03-3577-1821 一般800円 月曜日休館

●島山記念館 「尾形光琳没後300年記念 光琳とその後継者たち」 6月12日まで 休館
03-3447-5787 一般700円 月曜日休館

●武蔵野市立吉祥寺美術館 「萩尾望都SF原画展」 5月29日まで 休館
04-222-0385 一般1000円 無休

東京郊外

●武蔵野市立吉祥寺美術館 「萩尾望都SF原画展」 5月29日まで 休館
04-222-0385 一般1000円 無休

関東南部

●県立神奈川近代文学館 「100年目に出会う夏目漱石」 5月22日まで 休館
045-622-66

66 一般700円 月曜日休館

●横浜美術館 「複製技術と美術家たち」 6月5日まで 休館
045-2221-0300 一般1300円 木曜日休館

●神奈川県立歴史博物館 「まぼろしの紙幣 横浜正金銀行券」 5月29日まで 休館
045-201-0926 一般600円 月曜日休館

●神奈川県立金沢文庫 「金沢百景 角田武夫の描いた失われた風景」 5月29日まで 休館
045-701-9069 一般400円 月曜日休館

●鎌倉国宝館 「禅の心とカタチ 総持寺の至宝」 5月29日まで 休館
0467-22-0753 一般500円 月曜日休館

●茅ヶ崎市美術館 「マティスが認めた日本人画家 没後20年 青山義雄展」 6月5日まで 休館
0467-88-1177 一般500円 月曜日休館

●静岡市美術館 「没後20年 ルーシー・リー展」 5月29日まで 休館
054-273-1515 一般1000円 月曜日休館

関東北部

●川越市立美術館 「黄金期の浮世絵 歌麿とその時代」 6月12日まで 休館
049-228-8080 一般500円 月曜日休館

●千葉市美術館 「生誕140年 吉田博展」 5月22日まで 休館
043-21-2311 一般1200円 4/25休館

●埼玉県立近代美術館 「ジャック・アンリ・ラルティーク」 5月22日まで 休館
048-824-0111 一般1100円 月曜日休館

●笠間日動美術館 「鴨居玲 死を見つめる男」 5月29日まで 休館
0296-72-2160 一般1000円 月曜日休館

●宇都宮美術館 「ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉」 6月5日まで 休館
028-643-0100 一般800円 月曜日休館

●足利市立美術館 「画家の詩 詩人の絵」 6月12日まで 休館
0284-43-1313 一般700円 月曜日休館

●山梨県立博物館 「武田二十四時」 5月23日まで 休館
055-261-2631 一般1000円 火曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

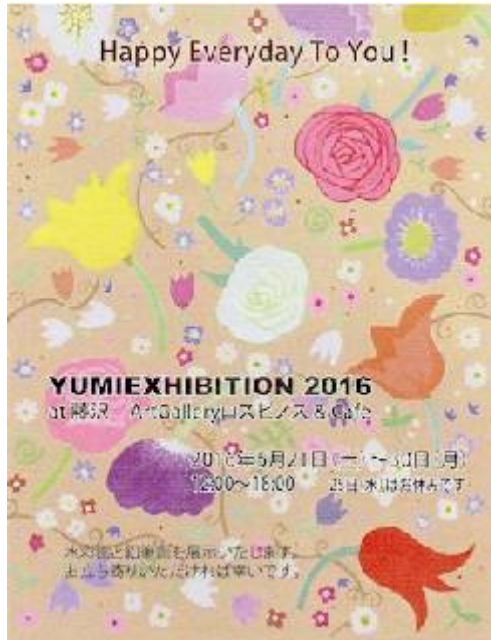
●江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを染しめず

●箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

Art Topics

Happy Everyday To You! 加藤ゆみえ作品展



◆ 5月21日(土)
5月30日(月)

Art Gallery
LOS PINOS &
Cafe (神奈川県藤沢市
南藤沢7-6-102)

TEL 0466-26-2000
0 営業時間 12:00~19:00
5月25日休廊

水彩画と鉛筆画を展示いたします。お立ち寄りいただければ幸いです。

◆ 6月14日(火)
7月18日(月)

京都国立博物館 平成知
新館(京都市東山区茶屋町
527) TEL 075-525-
52473 (テレホン
サービス) 一般520円
大学生260円 高校生
以下および満18歳未満、満
70歳以上の方は無料 毎週
月曜日休館

期間限定で庭園と一部施設を…

京都国立博物館では、「明治古都館」の休館に伴い、特別展覧会は「平成知新館」で開催されることになる。この期間中に当館の庭園と一部施設および屋外展示を一般260円で観覧できることになった。

期間…5月24日(火)~6月12日(日)

開館時間…午前9時30分~午後5時

観覧料…一般260円

『京都国立博物館 建築/庭園ガイド』冊子付き

休館日…月曜日

詳細は075-525-2473
テレホンサービス

京都国立博物館

特集陳列 徳川家康没後400年記念 徳川将軍家と京都の寺社 —知恩院を中心に—



徳川家康 幼少像(複製) 徳川家康 幼少像(複製)



徳川家康 幼少像(複製) 徳川家康 幼少像(複製)

知られざる歴史 を紹介

戦国の覇者として江戸幕府を開いた徳川家康は、元和2年(1616)4月17日に75才でその生涯を閉じた。

関西では家康のライバルであった豊臣秀吉の人氣が高いのですが、徳川将軍家が新しい秩序の支配者として京都の寺社を保護したことは忘れてはならない歴史的事実です。

本展では、2014年に重要文化財に指定された徳川家康・秀忠坐像(知恩院蔵)を公開し、知恩院を軸としてその知られざる歴史を紹介する。

家康像は、浄土宗総本山・知恩院に伝わる像で、2代将軍となったその子、秀忠坐像とともに御影とともに御影堂で祀られてきた。知恩院は慶長8年(1603)に家康の生母・於大おだいの方かたの永代菩提寺に定められ、以降、将軍家の庇護を受けて今日の偉観と



なった。徳川家康・秀忠坐像は、2014年に近世肖像彫刻の優品として重要文化財に指定された。秀忠像は元和6年(1620)に本人が運慶の流れを汲む七条仏師・康猶に命じて作らせたことがわかっており、家康像も康猶作と考えられている。その迫真の出来は、家康その人を面前に見るとき感がある。国宝御影堂に安置されていたが、現在御影堂の修理によって展示

が可能となった。

◆ 6月14日(火)
7月18日(月)

京都国立博物館 平成知
新館(京都市東山区茶屋町
527) TEL 075-525-
52473 (テレホン
サービス) 一般520円
大学生260円 高校生
以下および満18歳未満、満
70歳以上の方は無料 毎週
月曜日休館

編集後記

◆多くの読者の

皆様方からもどしどしメールを頂き、美術に興味をお持ちの方が増えているかが何え圧倒されてしましそうです、編集者の立場からは、読者がどのようなことを望んでいるかが直接聞き入れるチャンスとあって、とても大いに参考になっていて、記事の書き方にも刺激を受けており、編集記者の美術に対する新たな認識を持ちたいと思っております。編集部としては更なる飛躍を目指し頑張ります。

Y・O